

## IV 商品テスト事業のあらまし

### 1 商品テストの概要

- (1) 平成17年度に実施した商品テスト  
平成17年度は3件の商品について、延べ36検体のテストを実施した。

#### 実施商品テスト一覧

区分	テスト	試買テスト		外部依頼テスト (国セン)		計	
		件数	検体数	件数	検体数	件数	検体数
繊維関係		1	11	0	0	1	11
食品関係		1	19	0	0	1	19
雑貨工業品関係		1	6	0	0	1	6
計		3	36	0	0	3	36

(注) 商品テスト等の区分について

- 試買テスト  
消費者が商品を選択する際に必要な情報や資料を提供するために行う。
- 実習指導テスト  
消費者が自ら商品等をテストし、その知識を深めたり環境に配慮した生活を実践するための消費者参加テスト。

#### (2) 試買テストの実施状況

- ① 繊維関係  
・少年用ズボン
- ② 食品関係  
・むき栗
- ③ 雑貨工業品関係  
・防災関連用品(携帯型ライト・ラジオ付ライト) <平成17年度東北・北海道ブロック共同試買テスト>

### 2 商品テスト等に関する情報提供

No.	請求者	月	請求内容
1	新聞社	3	平成16年度試買テスト「タオル」テスト結果

### 3 試買テストの概要

#### <衣>少年用ズボン

##### 1.目的

小人用衣料品は着衣者の個体差も大きく成長も著しいこともあり、購入に際し参考とする衣料品の表示と実際着用した感じに違和感を覚えることがある。また、晩婚・少子化等により商品に対するニーズも多様化・細分化するとともに、商品の低価格化とブランド志向がより明確になっています。そこで、小人用衣料品の中の少年用ズボンについて表示とサイズ、耐洗濯性等をテストして情報提供することとしました。

##### 2.テスト対象品

少年用ズボン(サイズ:130) 11銘柄

##### 3.テスト項目及び方法

###### (1) 表示

- ア 家庭用品品質表示法に基づく表示
- イ 不当景品類及び不当表示防止法に基づく表示
- ウ その他の表示

###### (2) 洗濯耐性

- ア 寸法変化 家庭用洗濯機での洗濯を繰り返し、寸法を測定
- イ 退色 家庭用洗濯機での洗濯を繰り返し、退色の度合いを判定

##### 4.テスト結果

- (1) 今回購入した商品の価格は、790円(No.3)～3,045円(No.1,2)で、平均の価格は1,802円でした。
- (2) 全て130サイズの商品でありましたが、商品間でサイズにばらつきがみられたことから、購入時には商品を身体に合わせて購入するのがよいでしょう。
- (3) 洗濯により著しくサイズが変化するような商品はみられませんでした。
- (4) 仕様として着古した感じを出したりするために、濃色の商品では色落ちや色移りの可能性がありますので、表示にあるように湿潤状態での放置や摩擦は避けるのが無難でしょう。

## <食> むき栗

### 1. 目的

甘栗の皮をむいた「むき栗」が販売されてから5、6年が経ち、今ではコンビニやスーパー等での定番商品となっています。むき栗のほとんどは海外産の栗を現地で焼いた後、皮がむかれ冷凍状態で輸入され、それを国内で加圧加熱殺菌したレトルト食品となっています。可食部の形にこだわらず、味と価格を優先させる商品もありますが、レトルト食品のため、食する栗の状態を購入前に確認することができなくなっています。そこで、現在市場に流通している商品を購入、中身等についてテストを実施し情報提供することとしました。

### 2. 対象品

むき栗 19銘柄

### 3. 調査及びテスト項目とテスト方法

#### (1) 表示

農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律(JAS法)と、不当景品類及び不当表示防止法(景表法)に基づく表示が適正であるか調査しました。

#### (2) 内容量

内容量を計測し、内容量の表示が適正であるか調査しました。

#### (3) 価格

商品の価格と、グラム当たりの価格を比較して調査しました。

#### (4) 水分

内容物を105℃で48時間乾燥させ、乾燥前と乾燥後の重量から求めた含水率を比較して調査しました。

#### (5) 官能検査等

20代から50代までの男女17名に実際に食してもらい、味覚等について調査しました。

### 4. テスト結果

(1) 栗を原材料としているため、同一の商品であっても粒の大きさや味にばらつきがありました。また、栗の割れや欠けは自然に生じるものの他、皮むき等の加工工程での切断によるものと思われるものが複数ありました。

(2) 1グラムあたりの値段は0.83円(No.10)～4.29円(No.1)で平均価格は1.87円でした。ほとんどの商品で中国産の栗を使用していました。

(3) 値段の高い商品が美味しいというわけではありませんでした。しかし、価格の安い商品では栗の個体差が大きいものがありました。

(4) 開封した商品は、時間が経つとツヤが無くなり、ぱさぱさした感じになりました。開封後は極力食べきってしまうようにし、保存する場合には表示の方法に従うのがよいでしょう。

## <住> 防災関連用品(携帯型ライト・ラジオ付ライト)

### 1. 目的

地震や火災による災害などに備えるために、携帯型のラジオやライトが販売されていますが、従来型の製品は乾電池を入れたままにしておくため、いざ使う時に乾電池の消耗により、長時間使えないという場合も少なくありません。最近では、ハンドルを回したり、太陽電池により発電した電気を蓄電池に蓄えてラジオを聞いたり、ライトを点灯したりできる商品が主流となっています。本試買テストでは、ラジオやライトが使える時間や、ライトの明るさがどの程度なのかわかりにくいため、取り扱いの注意点、発電の程度等について調べ、消費者に情報提供することとした。

### 2. 対象

携帯型ライト                    2銘柄  
携帯型ラジオ付ライト       4銘柄

### 3. テスト項目

- (1) 価格、表示等
- (2) ライトの照度(ダイナモ式充電、ソーラー式充電)
- (3) FMラジオの可聴時間
- (4) 携帯電話機の充電機能とサイレンについて

### 4. テスト結果

- (1) 表示について問題がある商品はなかった。
- (2) ダイナモ式充電によるライトの点灯開始時、点灯10分経過後、30分経過後の照度は、商品によって差があった。冷陰極ライトはLEDライトに比べて暗く、新聞の文字が読めた時間はハンドルを120回転させた場合、平均1.4秒から6.4秒と暗かった。
- (3) ソーラー式充電による照度テストでは、豆電球を使用した商品がLEDを使用した商品に比べて点灯開始時の照度は明るかったが、点灯30分経過後の照度はLEDを使用した商品の方が明るかった。
- (4) FMラジオの可聴時間は、ハンドルを120回転させた場合、平均2分48秒から51分24秒と差が大きかった。
- (5) 携帯電話機を充電できる商品、サイレンが鳴る商品において、問題はなく作動した。